

ケアネットせとうち通信



市民講座「在宅医療・介護推進フォーラム」

認知症と共に生きる

～ 認知症になっても自分らしく暮らせるまち瀬戸内市 ～

講演 「認知症の人と家族のための支援の手引き」

慈恵病院 副院長／岡山県認知症疾患医療センター 石津 秀樹 氏

発表 「当事者を「まんなか」に支え合う仕組み作り」

瀬戸内市地域包括支援センター 看護師 橋本 知恵 氏

発表 「笑顔が広がるつくしカフェ」

瀬戸内市認知症マイスター

特設コーナー

- ・口腔ケアコーナー
- ・栄養食品コーナー
- ・情報提供コーナー
- ・福祉用具コーナー
- ・介護相談コーナー



12月9日に、瀬戸内市在宅医療・福祉・保健連携推進協議会と瀬戸内市の主催で市民講座「在宅医療・介護推進フォーラム」を開催し、市民や関係者90名が参加しました。

講演・発表を聞いた参加者からは、「認知症の心を理解し、適切に対応したい」「認知症の方と共に地域で支え生活することが必要とあらためて思いました」「色々な面で不安でしかなか

かったが少し安心できたように思います」「地域での活動やマイスターさんの話が聞いて良かった」「できればつくしカフェに参加したい」などの感想をいただきました。また、関係機関・団体にご協力いただいて

設置した特設コーナーでは、対面での説明、パンフレットやレシピの配布、相談、啓発などを行いました。

瀬戸内市では、今後も在宅療養などに関する市民向けの講座や出前講座を開催します。広報せとうちや市ホームページでお知らせしますので、ぜひご参加ください。



瀬戸内市在宅医療・福祉・保健連携推進協議会を開催しました

愛称：ケアネットせとうち

医療・福祉・保健の関連団体から選出された委員が連携し、在宅医療・福祉・保健連携推進に必要な事項について検討を行っています。

第3回 令和5年12月14日(木)

第3回の協議会では、12月9日に開催した市民講座「在宅医療・介護推進フォーラム」の報告や「高齢者の保健事業」について後期高齢者の健康に関する現状、課題を確認し、保健事業に関係する職種の方々と協議を行う専門委員会にご出席いただく委員の選任を行いました。また、市内の状況や委員の皆さんが日ごろの業務を通じて感じている課題などについても共有しました。



瀬戸内市内高齢者入所施設合同研修会

高齢者入所施設の介護職員の皆さんが、それぞれの施設での生活支援の状況について意見交換を行うことで相互に理解を深め、利用者が住み慣れた地域や施設で、その人らしく安心して暮らし続けるための生活支援のあり方について考えることを目的として、市内7施設と瀬戸内市の協働で合同研修会を、9月29日と11月2日に瀬戸内市総合福祉センターで開催しました。

メインテーマは、「笑顔で長生き、利用者の生活の質（QOL）の向上のために～今、私たちにできる取り組みを考える～」。各施設から選出された企画運営係員の皆さんが研修の企画を考え、当日の準備・進行も工夫して進めていただきました。

第1回では、参加者それぞれが課題と思っていることや自施設の取り組みについて意見交換を行いました。出た意見を各施設に持ち帰って実践し、第2回では、取り組んでどうだったか、今後取り組みたいことなどについて話し合いました。参加者からは、他の施設の職員も同じような悩みを持っていることがわかった、他の施設の取り組みが参考になったので今後も実践していきたいといった意見が多く出ており、今後の支援に活かせる内容となりました。

グループごとのテーマ

- 1 G: 脱コロナ
- 2 G: 日々の業務と見守りの両立
- 3 G: 生活リズムを整える
- 4 G: 日中の過ごし方
- 5 G: 家族との関わり
- 6 G: 不穏な方への対応



瀬戸内市在宅医療多職種連携研修会

【日 時】令和5年11月30日（木）午後7時～午後8時30分

【場 所】瀬戸内市総合福祉センター

【テーマ】骨折からの在宅復帰について
～多職種が連携し支援するための準備～

【講 師】公益財団法人操風会 岡山旭東病院 整形外科 平野 浩司 氏

【参加者】医療・介護・福祉・行政関係者31名



平野 浩司 氏

「当院整形外科の取り組み」と題した講演では、講師の平野氏から、骨粗しょう症による骨脆弱性骨折についての基礎的な内容や、骨粗しょう症の予防・治療、骨折した際の早期受診の重要性などについてお話いただきました。



講演後に行った多職種によるグループワーク

参加者からは、「受傷からなるべく早期に手術・治療することの重要性がよくわかりました」「骨粗鬆症にならないようにすることの重要性、骨粗鬆症の治療の継続の大事さがとてもよくわかりました」「薬物治療と、身体的な体操などの療法など、具体的なお話でわかりやすかったです」など多くの感想をいただき、骨折ドミノにならないための予防の視点などを考える有意義な機会となりました。

瀬戸内市福祉サービス事業所向け研修会 (知的障害基礎研修) 参加者募集中！

昨年度
大好評だった
研修会を
今年も開催！

トータルサポートセンターでは、障がいのある方への支援を充実するために取り組んでいる基幹相談支援業務の事業として、障がいのある方への支援に携わっておられる職員の方を対象とした研修会等を開催します。

支援の現場で、きちんと説明したのに相手に理解してもらえなかったという経験はありませんか？当事者の気持ちを知る・相手に伝わる伝え方を学ぶことで、受講当日からすぐに支援に活かせる研修会です。お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

日 時：令和6年2月14日（水）
午前10時～正午（午後9時30分受付開始）

場 所：瀬戸内市総合福祉センター 2階大会議室

テーマ：知的障害・自閉スペクトラム症の人への支援の基本

講 師：社会福祉法人旭川荘 川西 大吾 氏

対象となる事業所にはご案内をお送りしています。申込方法など詳細はチラシをご覧ください。

第24回

せとうちカフェ



テーマ 最初はできなくてあたりまえ こんな所までデジタル化

11月17日に開催した第24回せとうちカフェでは、参加者は、チャット1では「身のまわりのデジタル」、テーブルホスト（進行）を残して移動したテーブルでのチャット2では「職場内のデジタル」についてトークを行いました。パソコンやタブレットで記録を書いたり、オンラインで担当者会議を開催したりするなど、医療や福祉の現場でも避けては通れないデジタル化は、どの事業所でも共通するテーマ。参加者の約半数が初めての参加でしたが、トークが盛り上がりました。カフェ終了後のアンケートも、オンラインでの回答を呼びかけ、ご協力をいただきました。参加者からは「会話が弾み交流が図れた」「また参加します」などの感想をいただきました。



終了後のせとうちカフェ協力隊企画会議（反省会）では、初めてや久しぶりの参加でもすぐにつながれるのが瀬戸内市の良さ、職場が異なっても同じような悩みを持っているので聞いたり話したりすることで安心するなどの意見が出て、せとうちカフェが専門職の皆さんの大切な交流の場であることをあらためて確認しました。

予告

第25回 せとうちカフェ

日時：令和6年2月21日（水）午後7時～午後8時30分
テーマ：なんで今の仕事をしょーるん？
いつもやりよーることはなそーや

トータルサポートセンター（ケアネットせとうち事務局）のご案内

医療・福祉・保健等に関する総合的な相談を受け、多職種連携で支援を行います。

【相談対応職員】
保健師・相談支援専門員

【相談時間】
午前8時30分～午後5時15分
（土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く）

【所在地】
瀬戸内市邑久町山田庄845番地1
（瀬戸内市民病院1階 玄関南側）

【電話番号】(0869) 22 - 3800
【ファックス番号】(0869) 22 - 3801



ケアネットせとうち

